



人口減少を踏まえた地域づくり

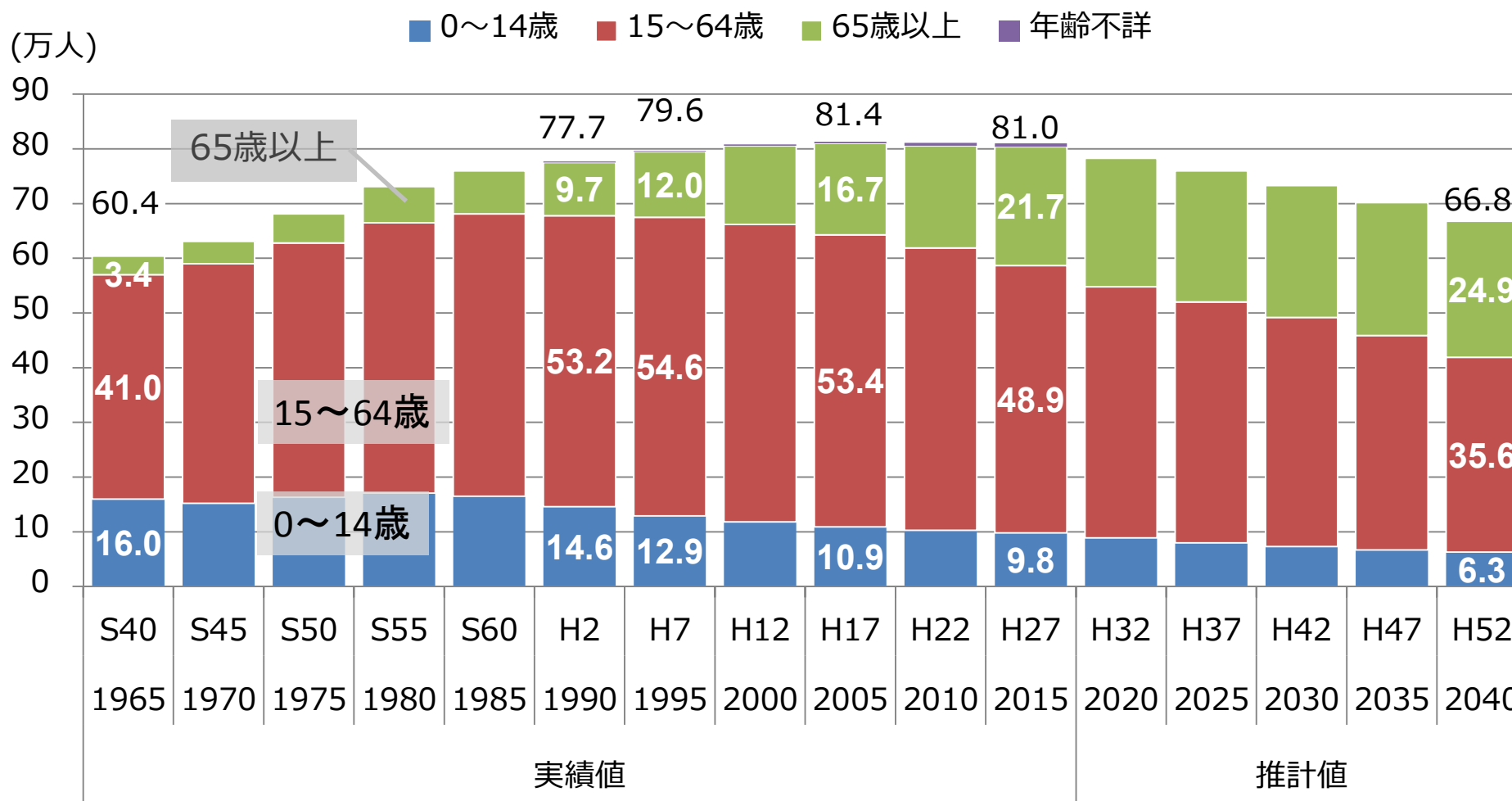


新潟市の人口の推移、推計

花開く活力、
広がる笑顔。
政令市新潟



- 総人口は、平成17 (2005)年をピークに減少局面に入っている
- 生産年齢人口(15~64歳)の減少が大きく、年少人口(0~14歳)も減少が続く。老年人口(65歳以上)は、平成52 (2040)年まで増加する見込み



※総人口は百人単位を四捨五入。年齢不詳や端数処理の関係上、総数と内訳が一致しない

出典:国勢調査、国立社会保障・人口問題研究所

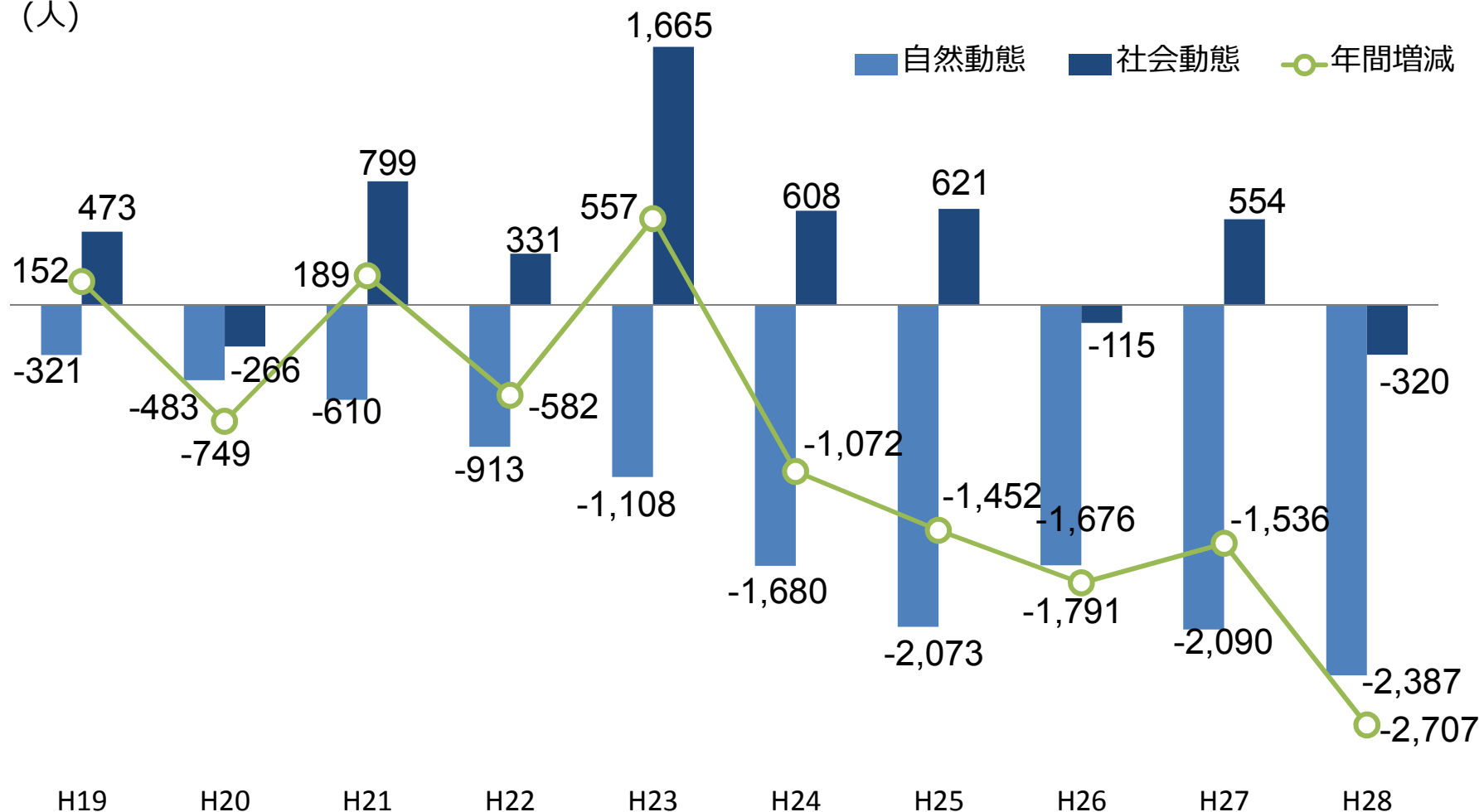
新潟市の人口増減の推移

花開く活力、
広がる笑顔。
政令市新潟



- 自然動態(出生-死亡)はマイナスが続いている。社会動態(転入-転出)は、転入者数が転出者数を上回る年が多かったが、**平成28年はマイナスとなった**
- 自然減の拡大が、人口減に大きな影響を与えている

(人)



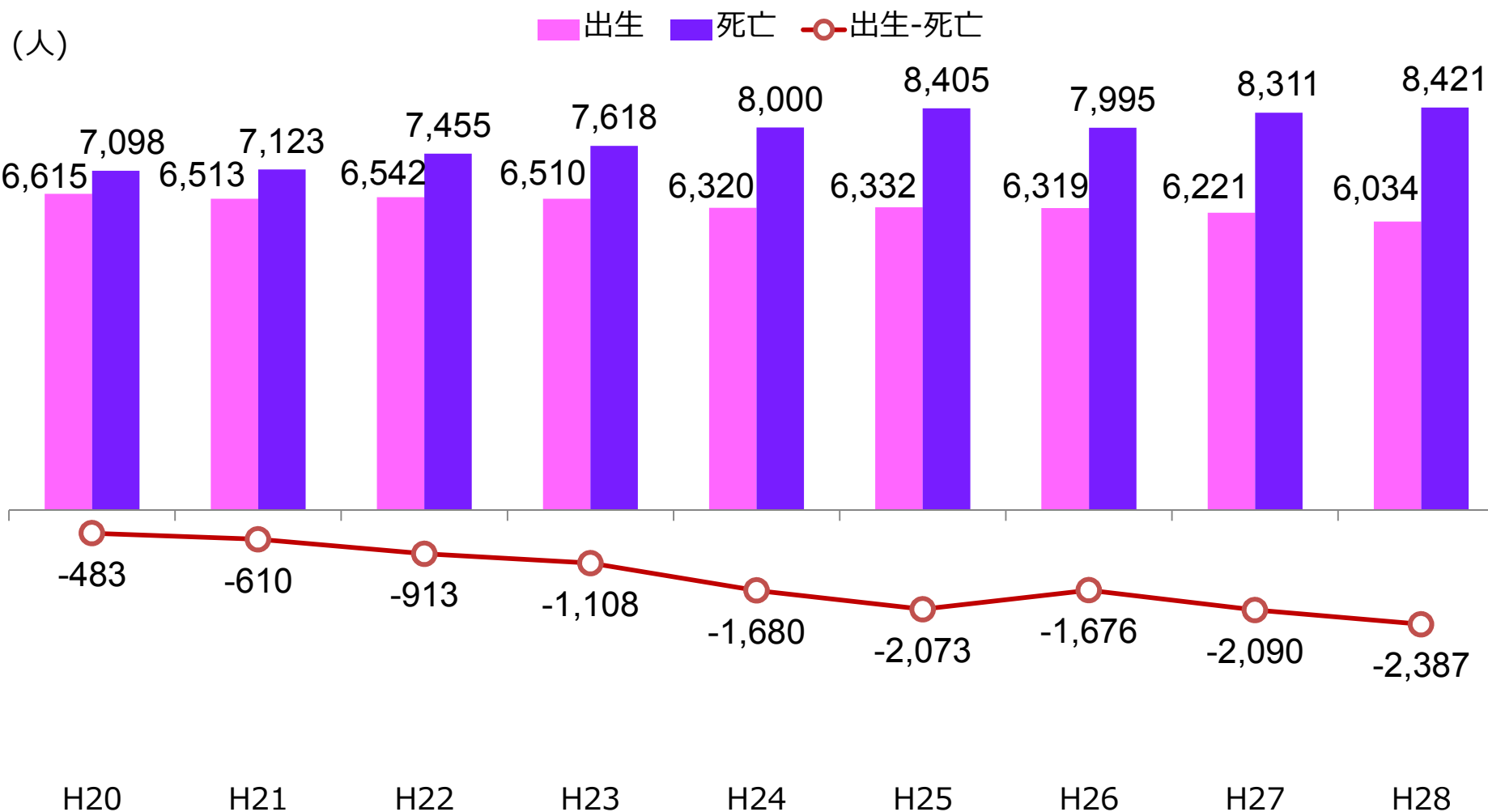
出典:新潟県人口移動調査結果報告

新潟市の自然動態の推移

花開く活力、
広がる笑顔。
政令市新潟



- **死亡数が出生数を上回り、自然減**となっている
- 人口構成を踏まえると、**自然減は今後、拡大の見込み**



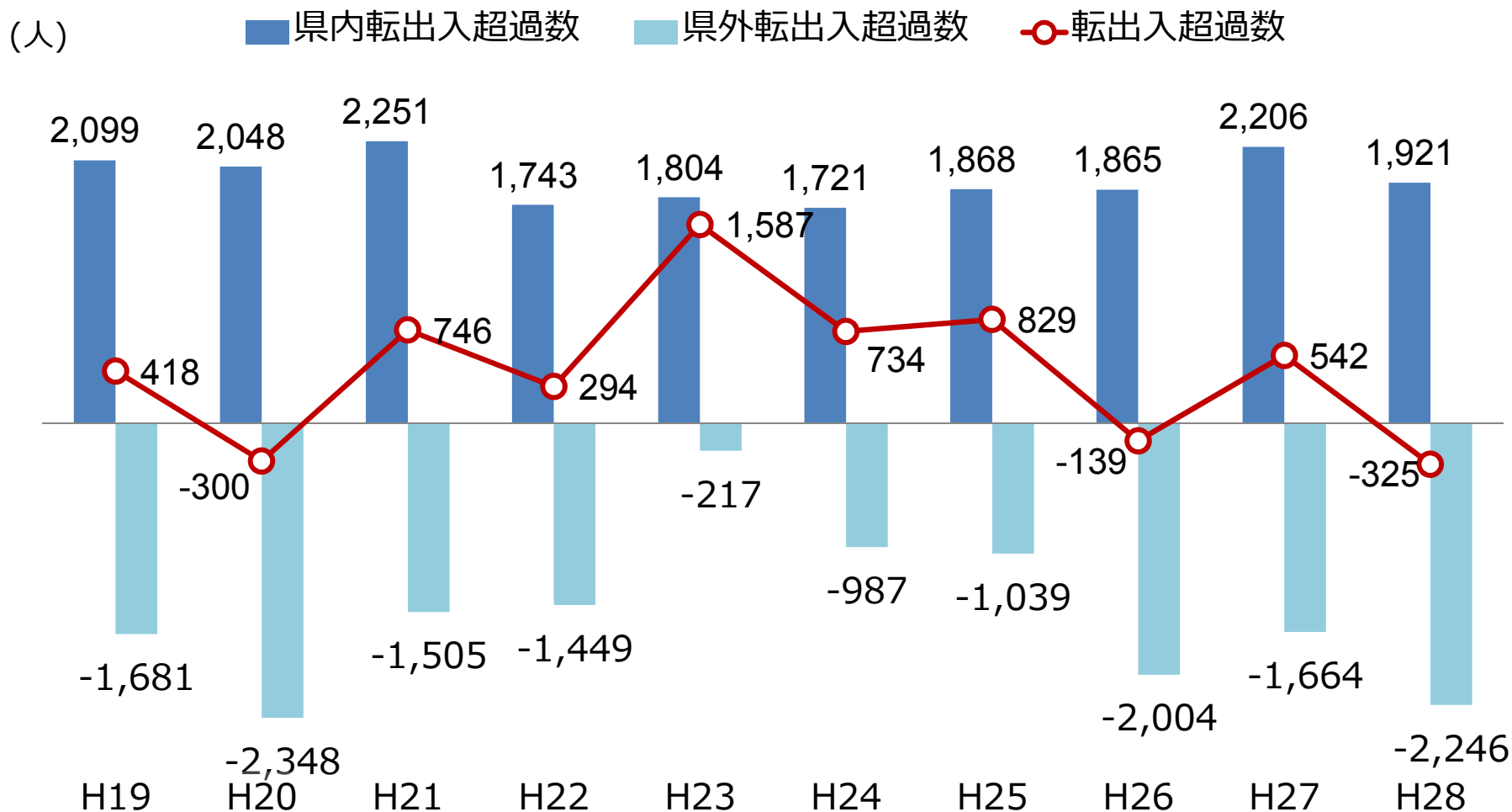
出典:新潟県人口移動調査結果報告

新潟市の社会動態の推移

花開く活力、
広がる笑顔。
政令市新潟



- 県内転出入超過数はプラスが続いているが、県外転出入超過数はマイナスとなっている
- 転出入超過数(社会動態)は平成28年はマイナスとなった



出典:新潟県人口移動調査結果報告

各区の人口推計

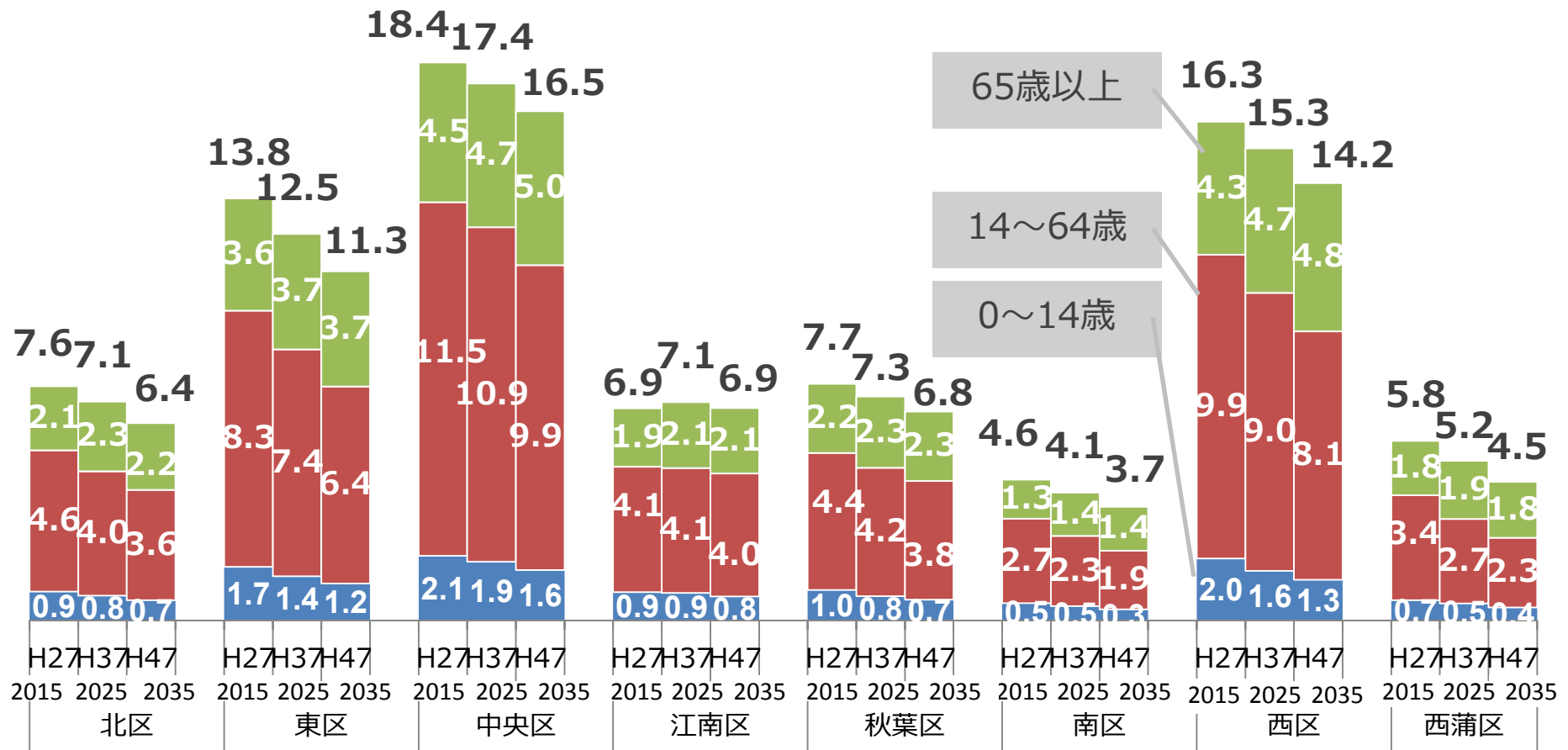
花開く活力、
広がる笑顔。
政令市新潟



- 区別人口は、江南区を除き、**全区で人口減少**が続く見通し
- **平成37 (2025)年までは全区で老年人口が増加するが、その後は複数の区で減少に転じる見込み。年少人口、生産年齢人口は減少し続ける見通し**

(万人)

■ 0~14歳 ■ 15~64歳 ■ 65歳以上



※総人口は百人単位を四捨五入。端数処理等により、総数と内訳が一致しない

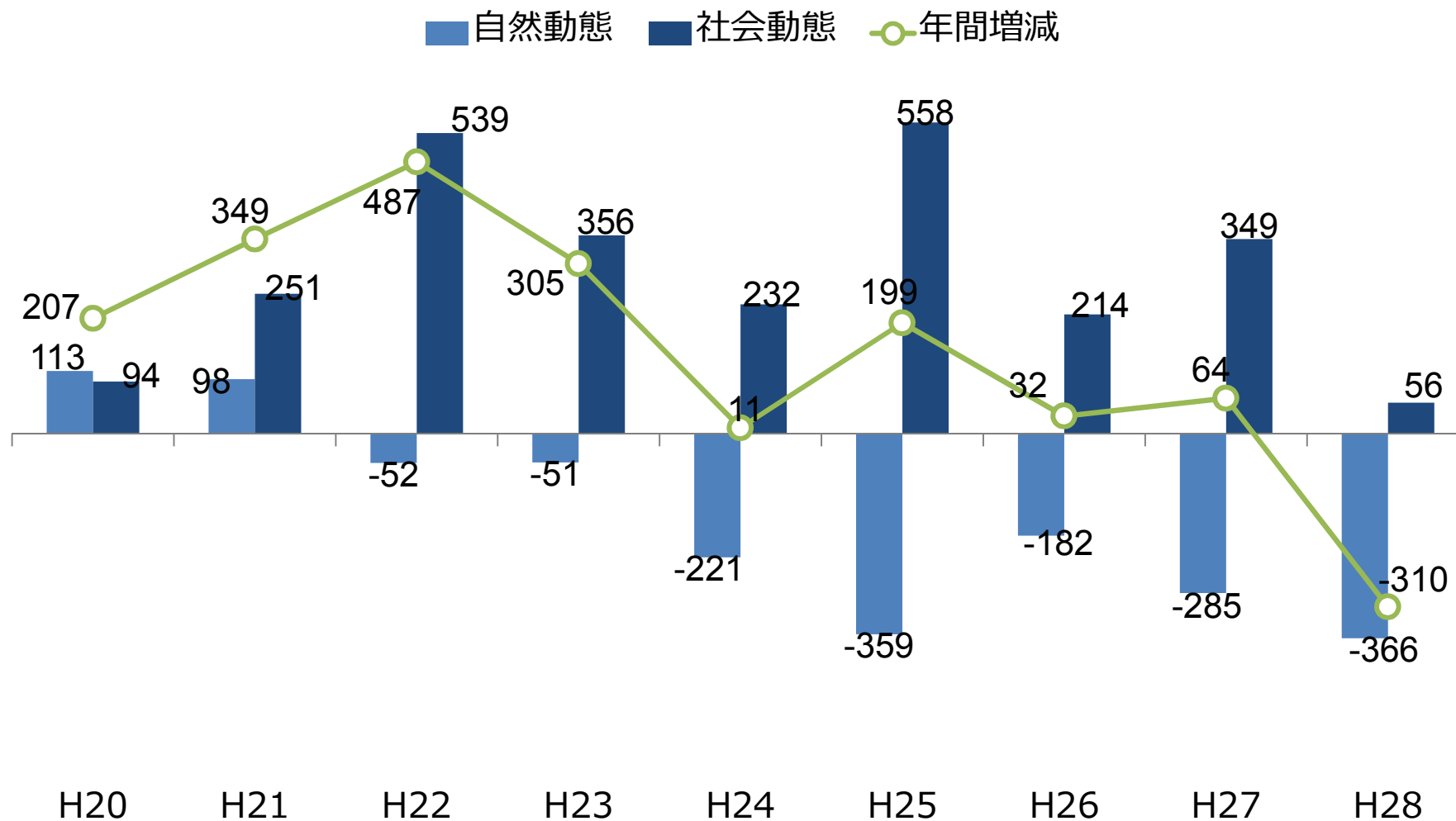
出典:国勢調査(推計値は国勢調査(H22)結果を基準として新潟市推計)

西区の人口増減の推移

花開く活力、
広がる笑顔、
政令市新潟



- 自然動態は、近年マイナスが続いているが社会動態はプラスとなっている
- 平成28年より年間増減がマイナスに転じた



西区の自然動態の推移

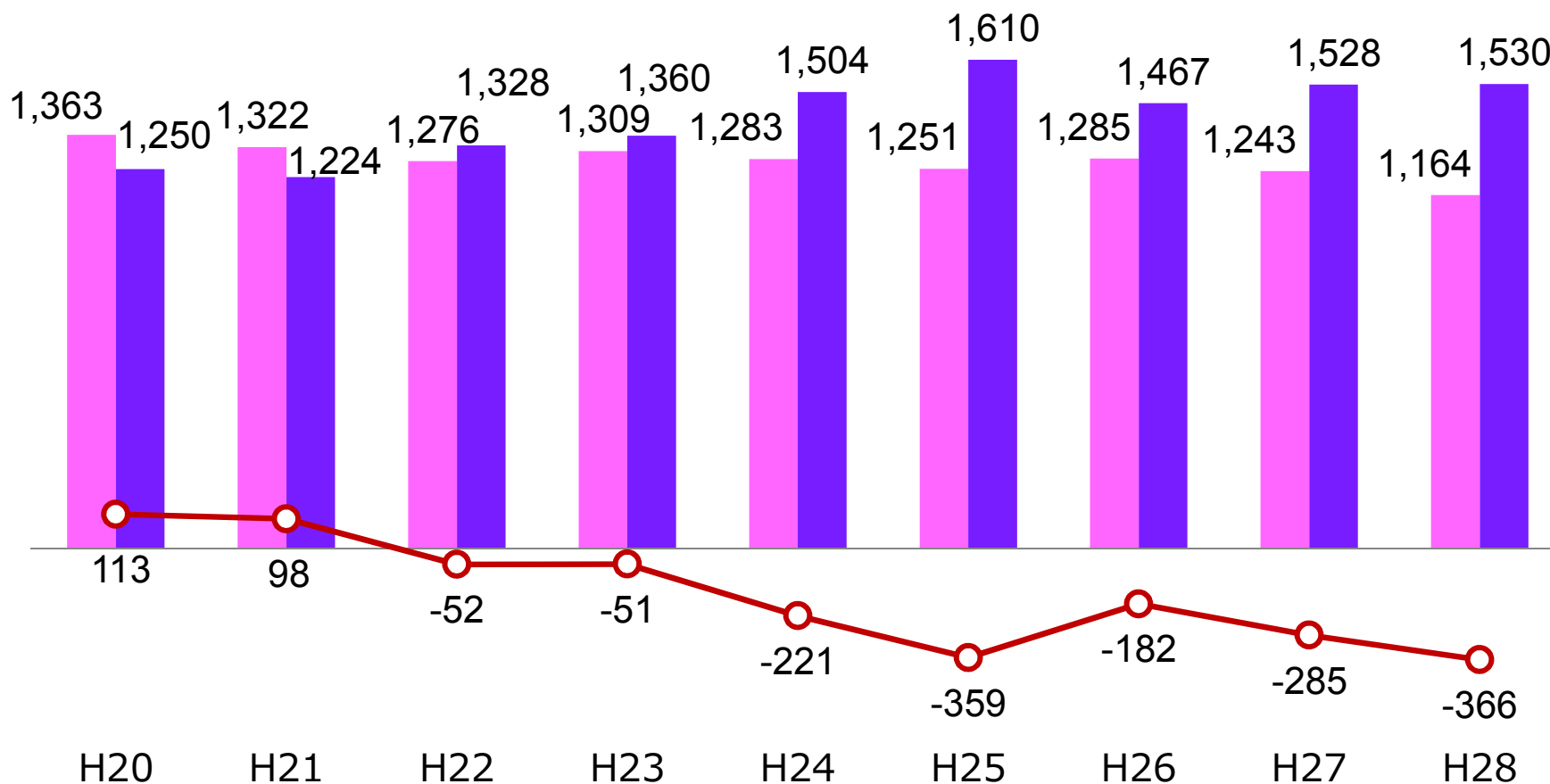
花開く活力、
広がる笑顔。
政令市新潟



- 死亡数が出生数を上回っており、近年**自然動態(出生-死亡)**は**マイナス**が続いている

(人)

■ 出生 ■ 死亡 ○ 出生-死亡

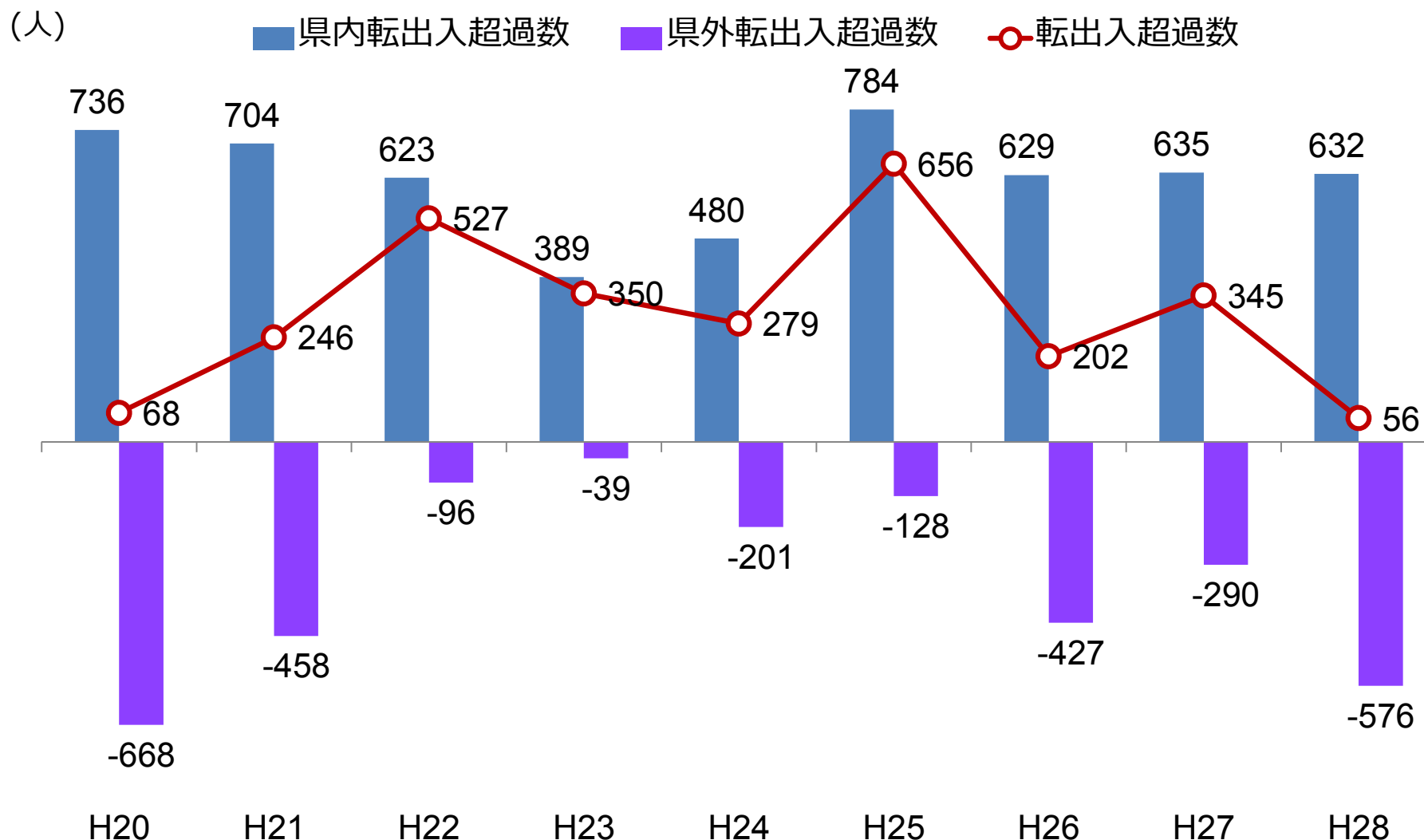


西区の社会動態の推移

花開く活力、
広がる笑顔。
政令市新潟



- 県内転出入超過数はプラス、県外転出入超過数はマイナスとなっており
全体の転出入超過数（社会動態）はプラスとなっている



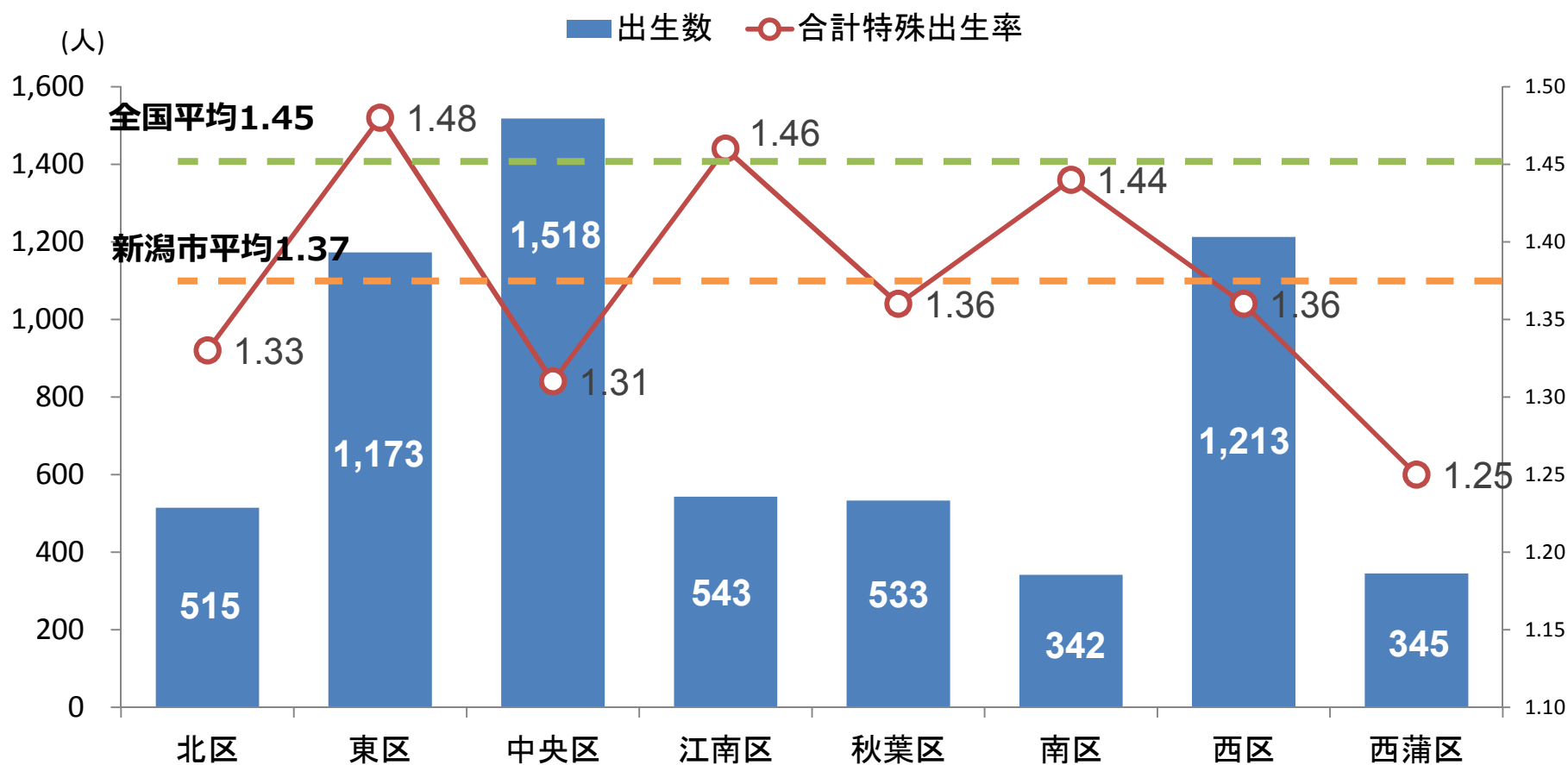
出典:新潟県人口移動調査結果報告

各区の出生数と合計特殊出生率(平成27年)

花開く活力、
広がる笑顔。
政令市新潟



- 出生数は、中央区、西区、東区の順となっており、人口に比例。
- 合計特殊出生率は、東区、江南区、南区の順に高く、西蒲区、中央区、北区の順で低い。



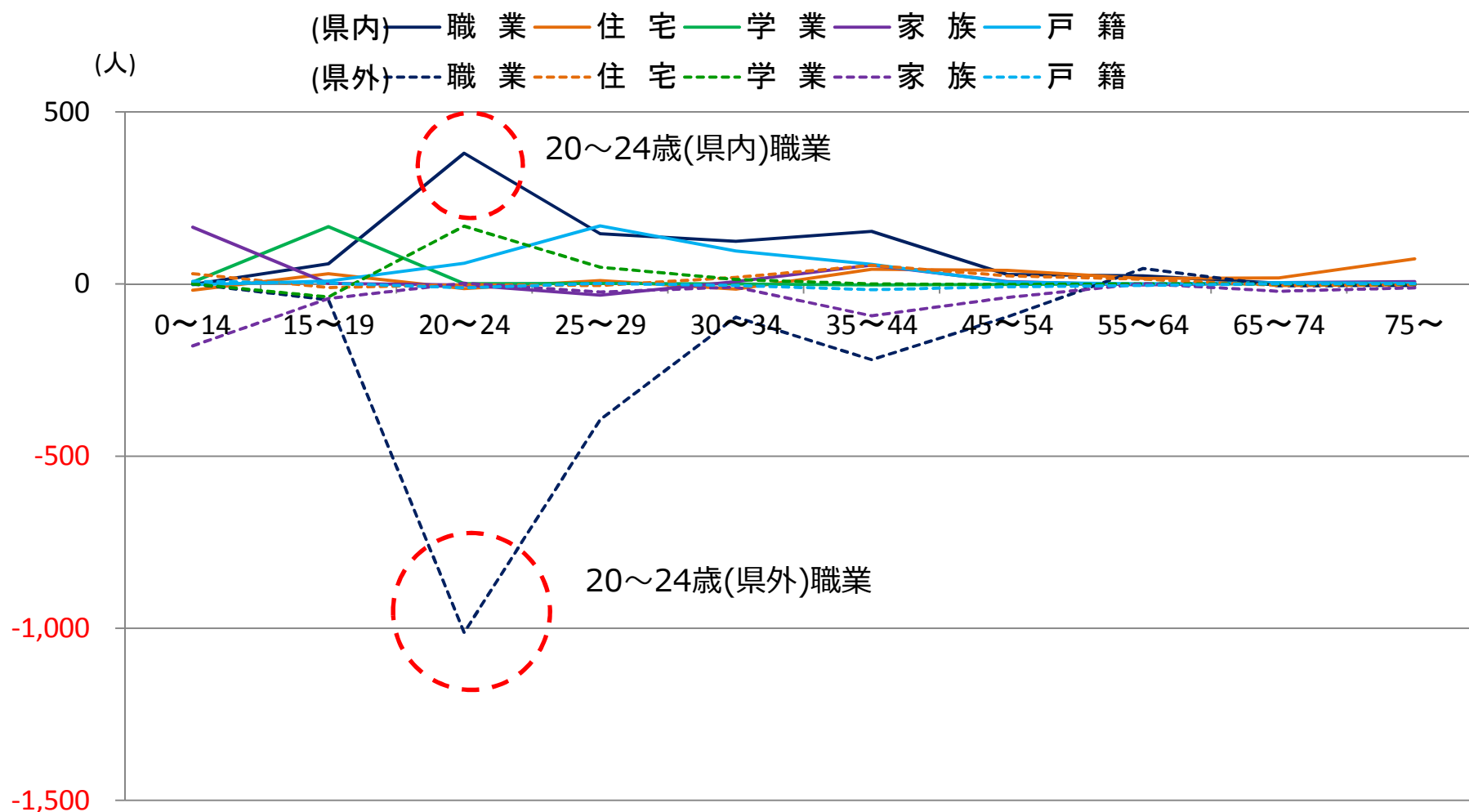
出典:新潟市保健と福祉

新潟市年齢階層別・理由別転出入(平成28年)

花開く活力、
広がる笑顔。
政令市新潟



- **20～24歳人口において職業を理由とした県内からの転入があるものの、それを上回る県外への転出がみられる。35～44歳においても同傾向**
- 県内からは、15～19歳の学業、25～29歳の戸籍による転入がみられる



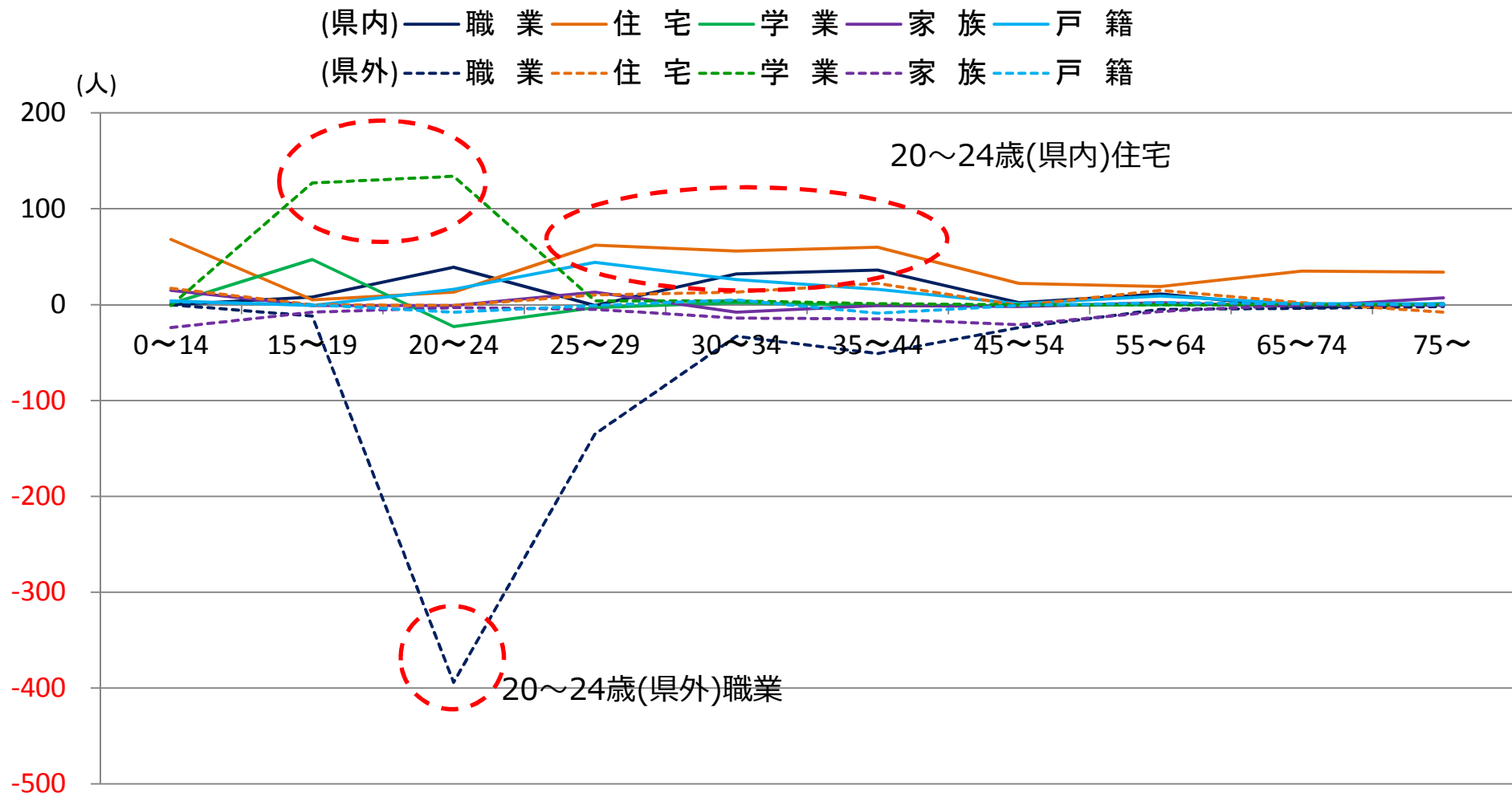
出典:新潟県人口移動調査結果報告(H27.10～H28.9)

西区年齢階層別・理由別転入出(平成28年)

花開く活力、
広がる笑顔、
政令市新潟



- 15～24歳において、**県内から学業を理由とした転入**がみられる
- 20～24歳において、**県外への職業を理由とした転出**がみられる
- 25～44歳で特に**県内から住宅**を理由とした転入がみられる



※県内は、他区間との転出入を含んでいる

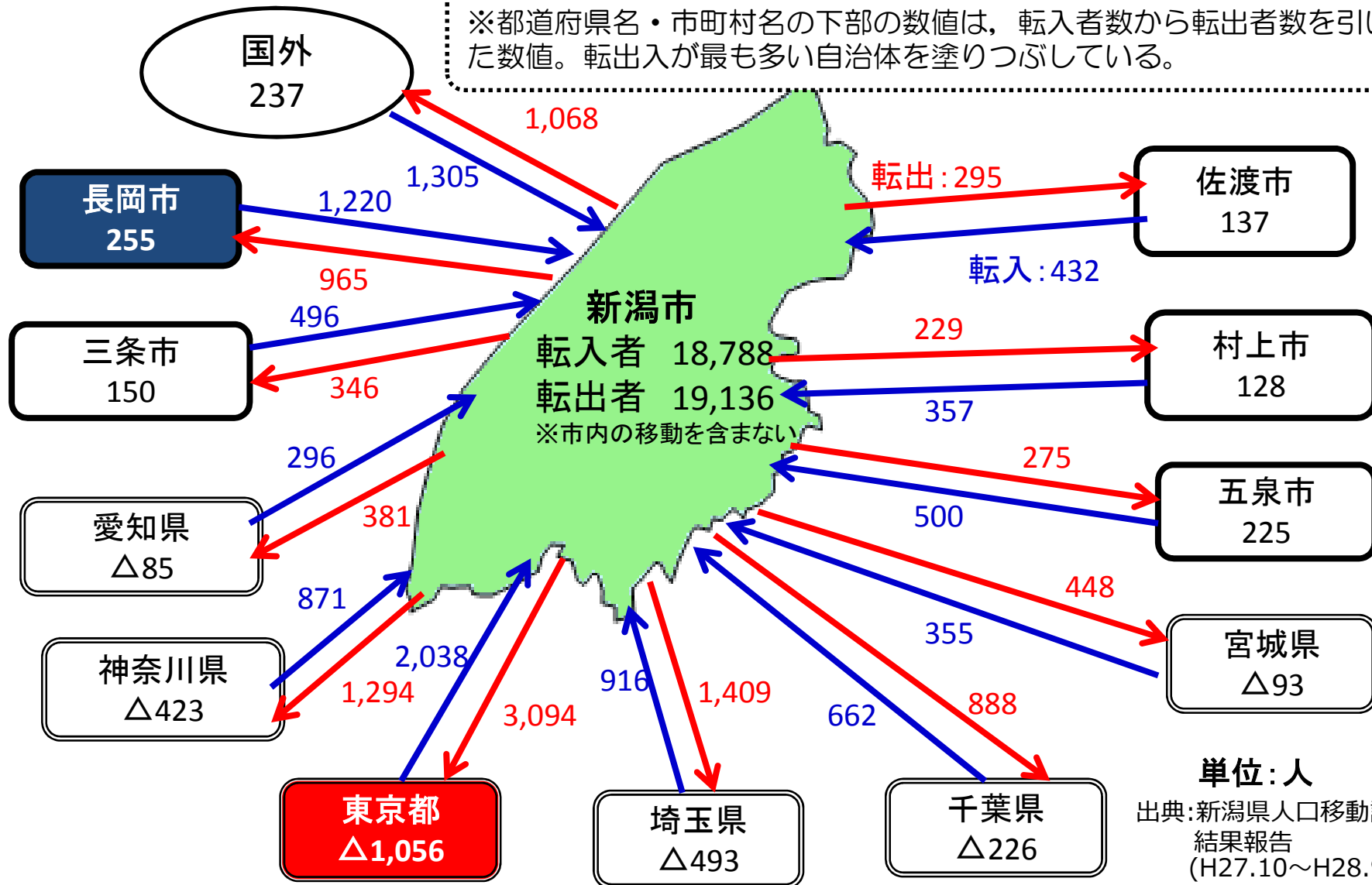
出典:新潟県人口移動調査結果報告(H27.10～H28.9)

新潟市 転出入先別 移動者数（平成28年）



- 県内隣接市からの転入超過がみられる
- 東京都、埼玉県、神奈川県といった東京圏への転出超過が顕著である

※都道府県名・市町村名の下部の数値は、転入者数から転出者数を引いた数値。転出入が最も多い自治体を塗りつぶしている。

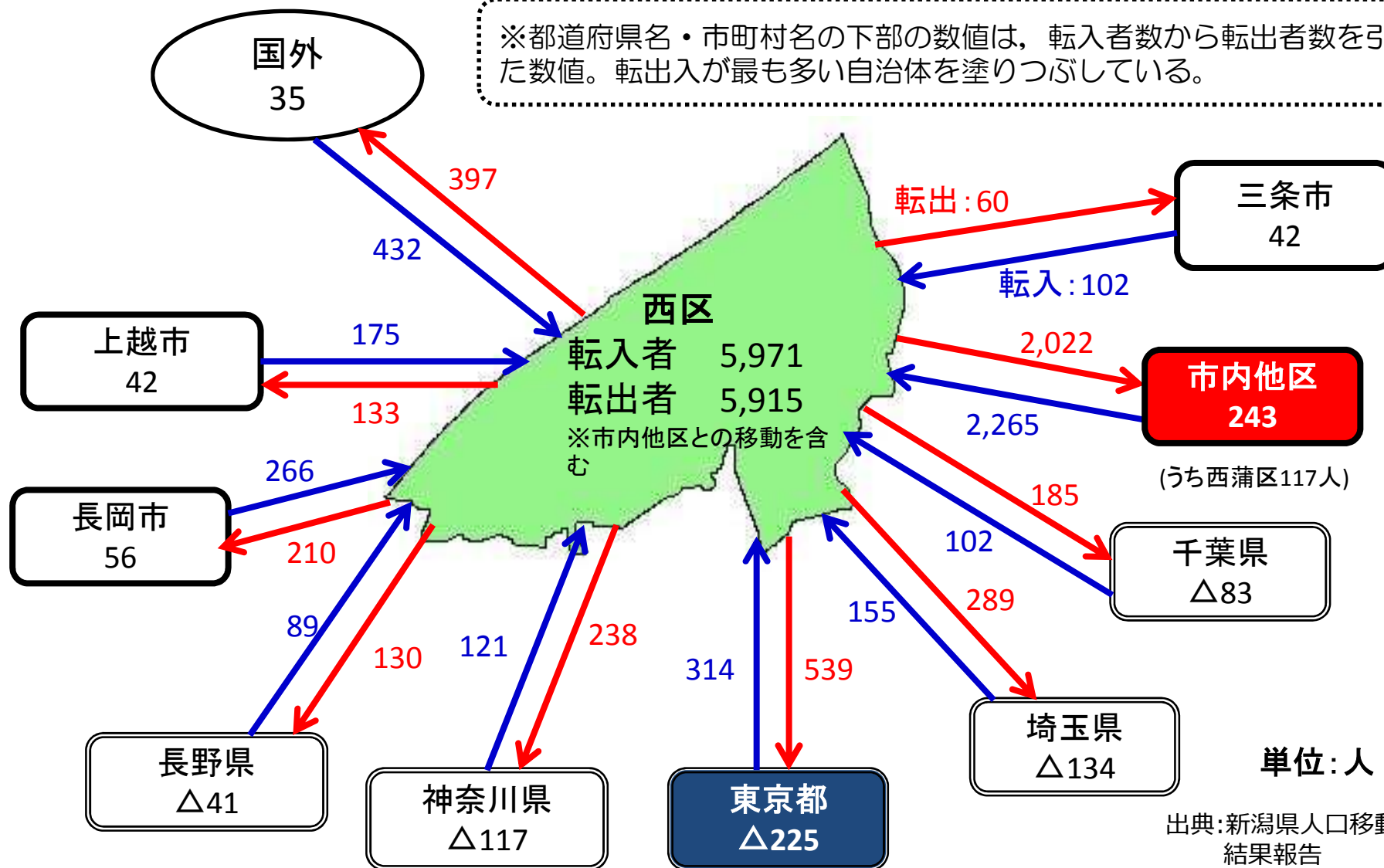


西区 転出入先別 移動者数（平成28年）



- 市内他区からの転入が最も多く、次いで近隣市町村からの転入が多い
- 東京都や埼玉県、神奈川県といった東京圏への転出が多い

※都道府県名・市町村名の下部の数値は、転入者数から転出者数を引いた数値。転出入が最も多い自治体を塗りつぶしている。

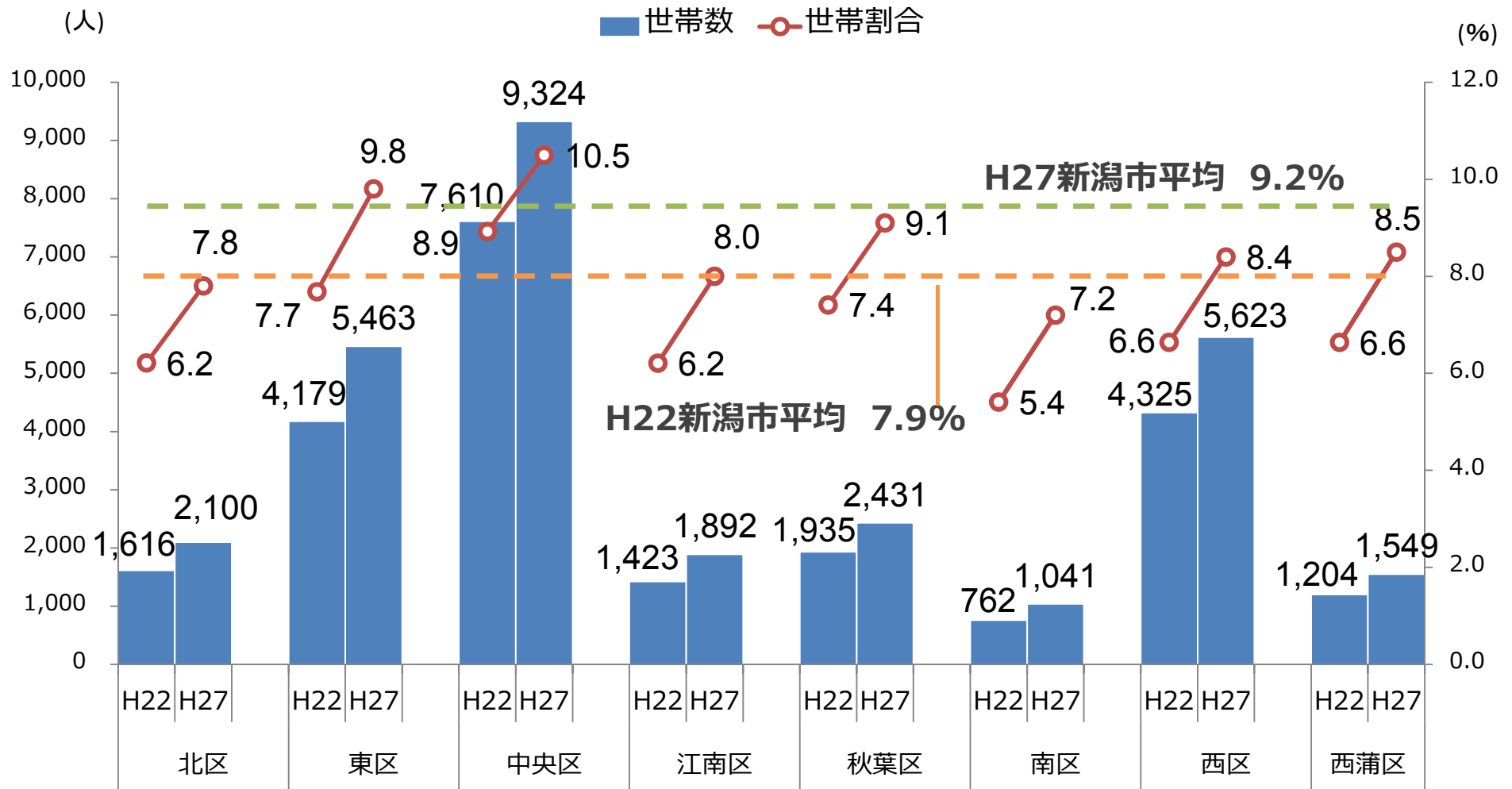


出典:新潟県人口移動調査
結果報告
(H27.10~H28.9)

65歳以上単独世帯の割合



- 高齢者単独世帯の割合が高い区は、中央区、東区、次いで秋葉区となっている
- 高齢者単独世帯の割合が低い区は、南区、北区となっている

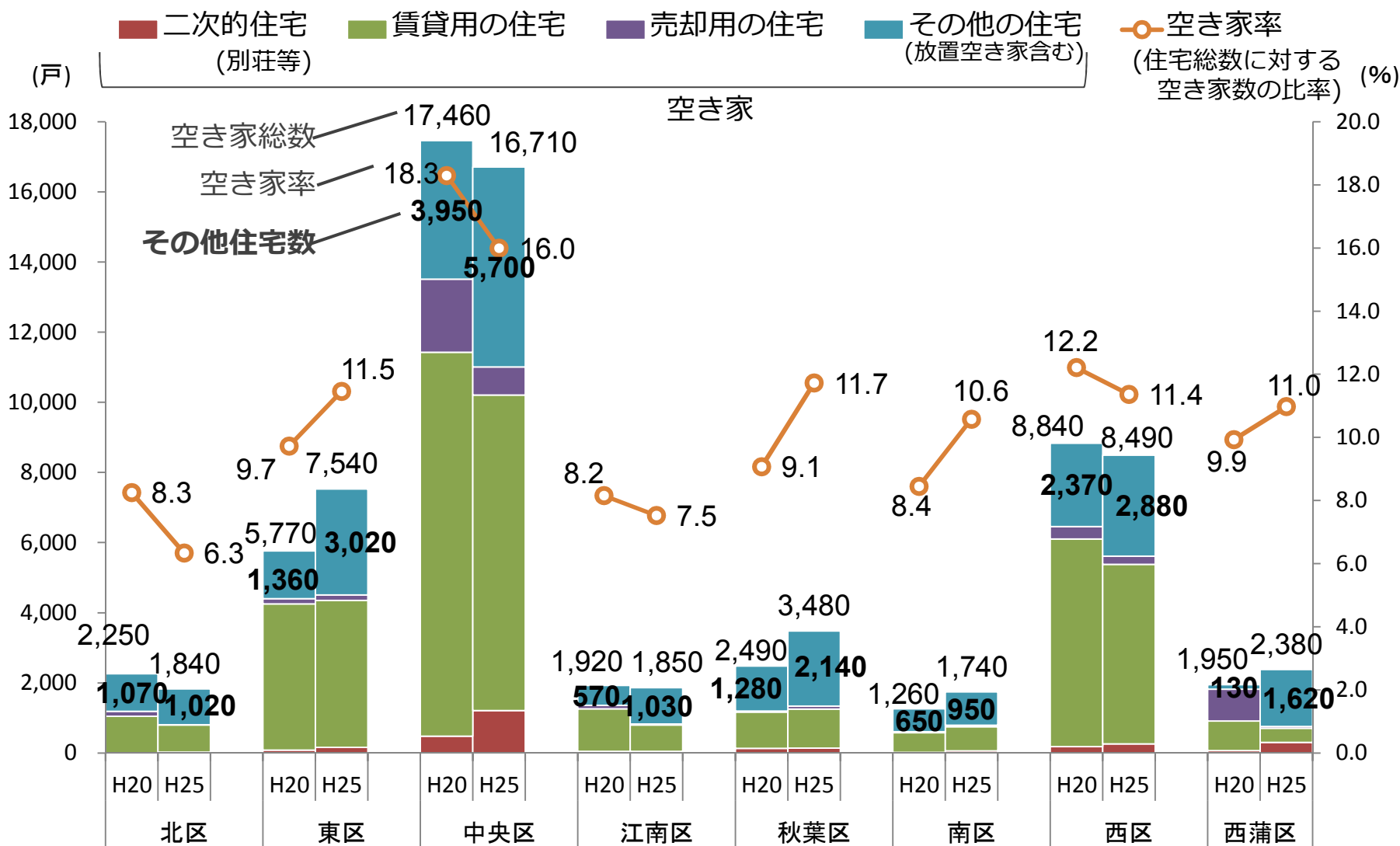


空き家数、空き家率

花開く活力、
広がる笑顔。
政令市新潟



○空き家の中でも「賃貸用、売却用の住宅」等を除いた「その他の住宅（放置空き家含む）」が北区を除く全ての区において増加



出典:住宅・土地統計調査

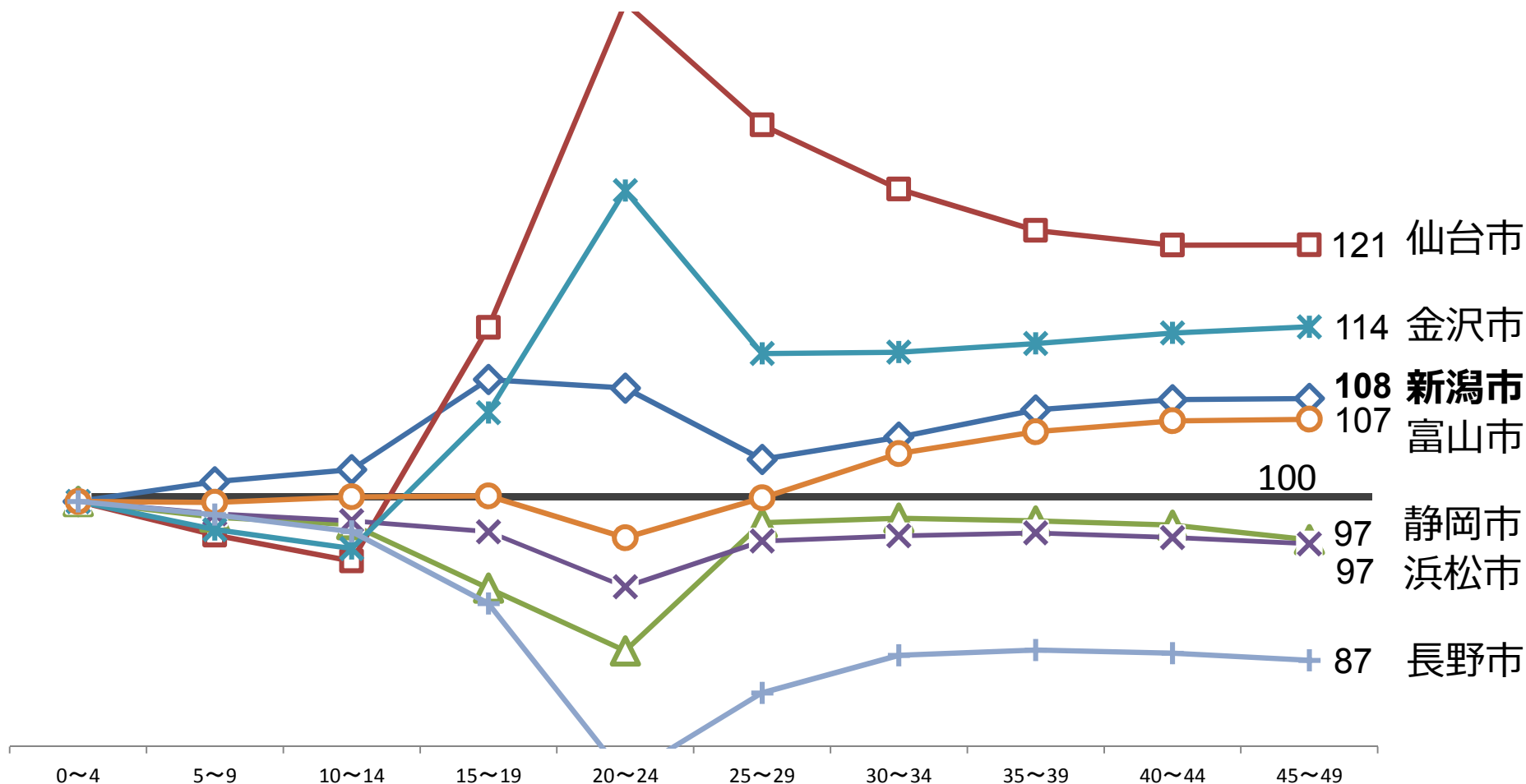
若者の出入りの最新状況

花開く活力、
広がる笑顔。
政令市新潟



○現在の転出入の傾向がそのまま続くと仮定し、0～4歳が100人だったとすると、45～49歳の時に何人になっているか？

◆新潟市 □仙台市 ▲浜松市 ×静岡市 *金沢市 ○富山市 +長野市



出典:国勢調査(H22、H27) 新潟市政策アドバイザー 藻谷浩介氏試算を基に新潟市加工

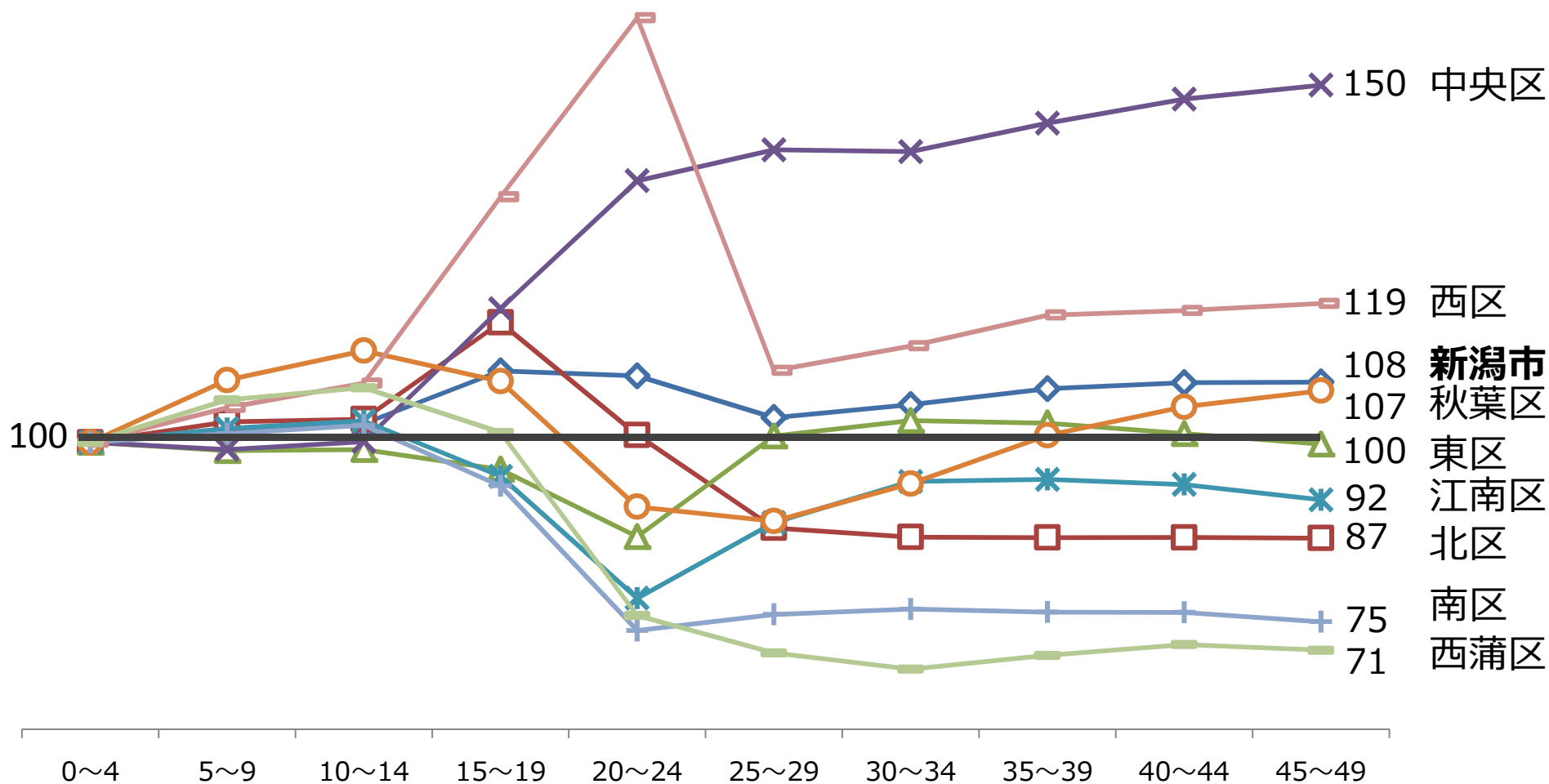
若者の出入りの最新状況（各区）

花開く活力、
広がる笑顔。
政令市新潟



○現在の転出入の傾向がそのまま続くと仮定し、0～4歳が100人だったとすると、45～49歳の時に何人になっているか？

■ 北区 ▲ 東区 ✕ 中央区 ✱ 江南区 ○ 秋葉区 + 南区 - 西区 ■ 西蒲区



出典:国勢調査(H22、H27) 新潟市政策アドバイザー 藻谷浩介氏試算を基に新潟市加工



「新潟市まち・ひと・しごと創生総合戦略」

4つの基本目標と主な取り組み

しごと
づくり

① 新たな産業集積による雇用創出

- ◆ 農業戦略特区のさらなる発展
- ◆ 航空機産業の育成
- ◆ ニューフードバレー構想の推進
- ◆ 「12次産業化」の具体化

② 創造交流都市としての拠点性を活かした交流人口の拡大

- ◆ 「食文化創造都市にいがた」確立
- ◆ 新潟の「食と農」を世界に発信

ひと
づくり

③ ライフステージに応じた一貫した支援による少子化の克服

- ◆ 結婚・出産・子育ての切れ目のない支援を総合的に推進
- ◆ ワーク・ライフ・バランスの改善
- ◆ 「教育ファーム」の一層の推進

まち
づくり

④ 地域力・市民力を活かした誰もが安心して暮らせるまち

- ◆ 「防災・救援首都」の取り組み推進
- ◆ 「健幸都市づくり(SWC)」の前進
- ◆ 地域包括ケアシステムの構築加速



流入促進 の取り組み

◆首都圏での移住相談会



主催・出展数 21回(H28実績)

◆HAPPYターン交流会



延べ参加者188名(H28実績)

流出抑制 の取り組み

◆教育委員会との連携

- ・ **小中学校**
大好きにいがた体験事業との連携
- ・ **市立高校**
新潟暮らしの魅力発見
情報発信研修

◆学生就活相談デスク

- ◆ 1 dayトライアルワーク
- ◆ 保護者のための就活応援講座
- ◆ 奨学金返還特別免除制度

■ 移住相談件数

第1位 長野県 **第2位 新潟県** 第3位 北海道

平成28年度における移住相談に関する調査結果



新潟暮らし創造運動



市

新潟市まち・ひと・しごと創生総合戦略

区

区ビジョンまちづくり計画

地域

地域課題に応じた取り組みを実施



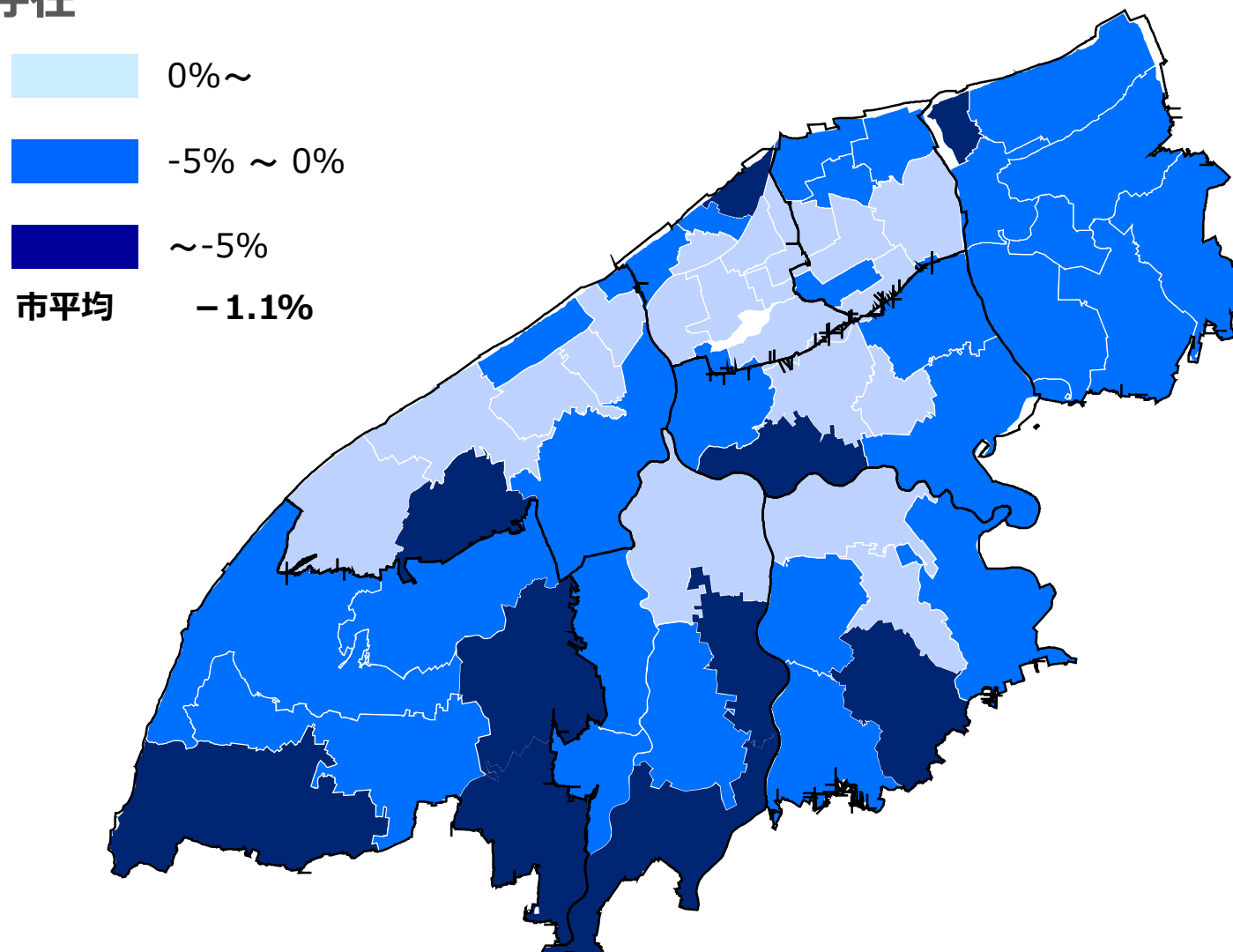
- 地域カルテにより地域の人口動向を**見える化**
- 地域が使える補助メニューのとりまとめ
- 各地域の取り組み事例をとりまとめ

中学校区別人口増減率（2011年⇒2016年）

花開く活力、
広がる笑顔、
政令市新潟



- 北区、西蒲区は、全ての中学校区において人口が減少している
- 東区を除く全区において**5%以上減少**している中学校区が存在

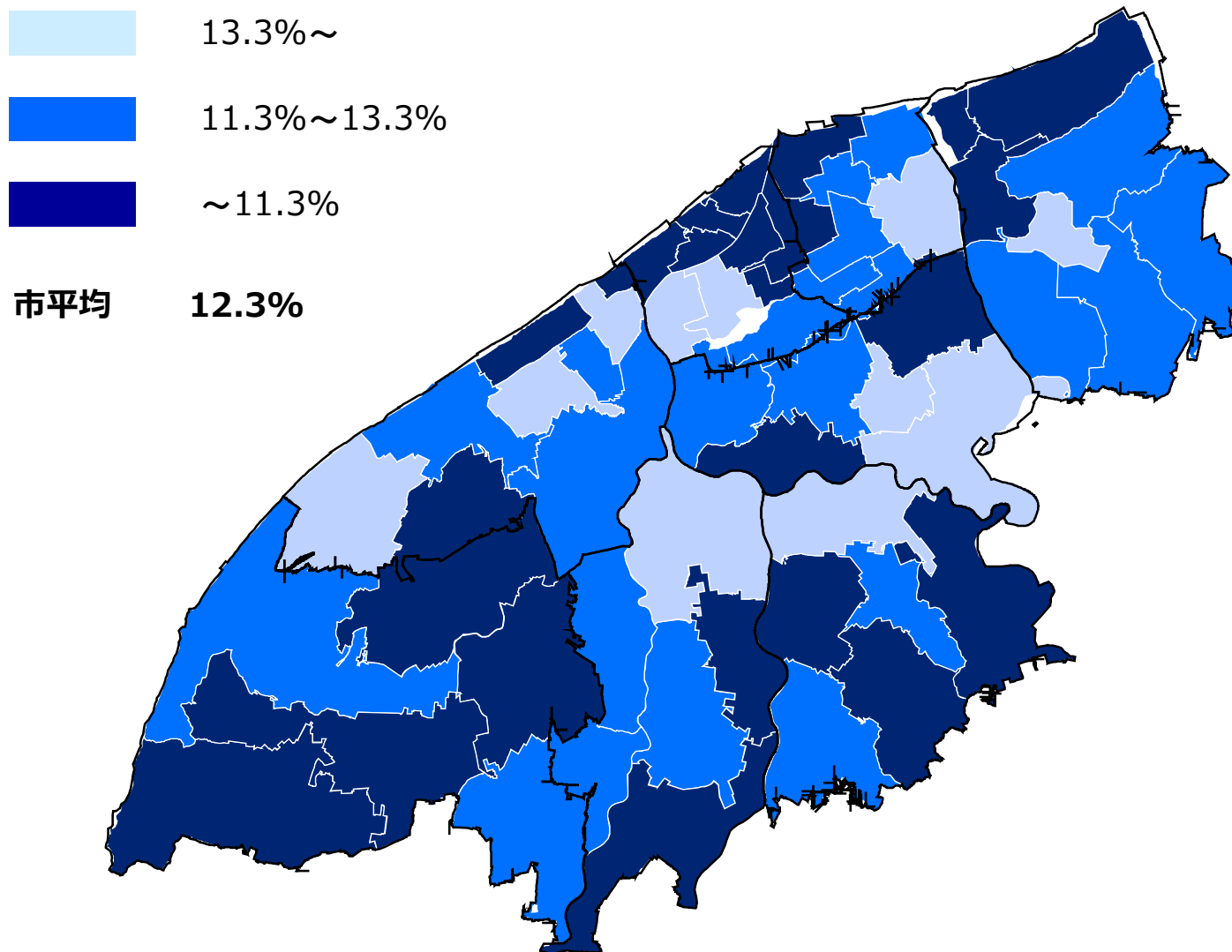


中学校区別年少人口割合（2016年）

花開く活力、
広がる笑顔。
政令市新潟

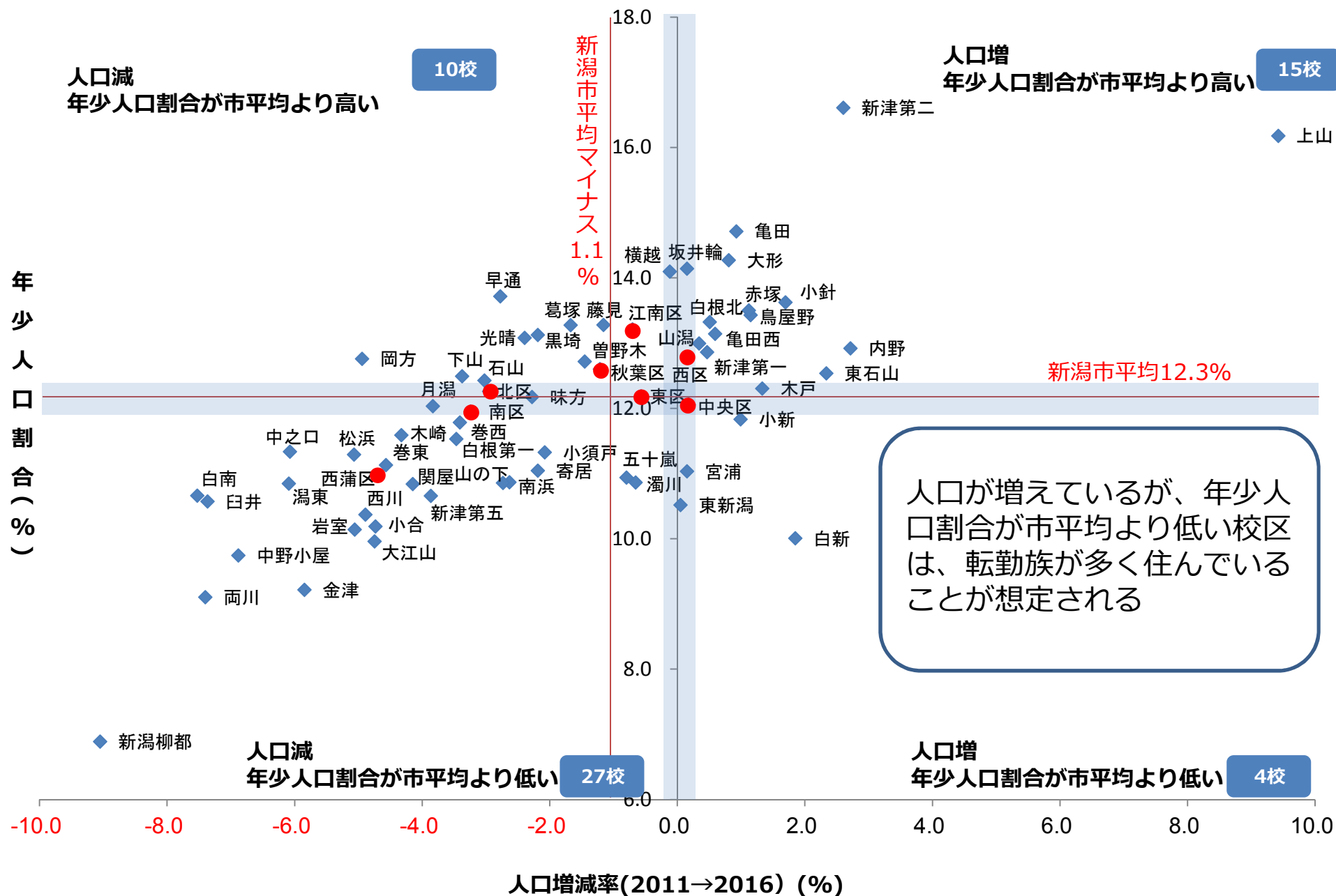


- 全ての区において、年少人口割合が11.3%未満の中中学校区が存在
- 西蒲区を除く全区で年少人口割合が13.3%以上の中中学校区が存在



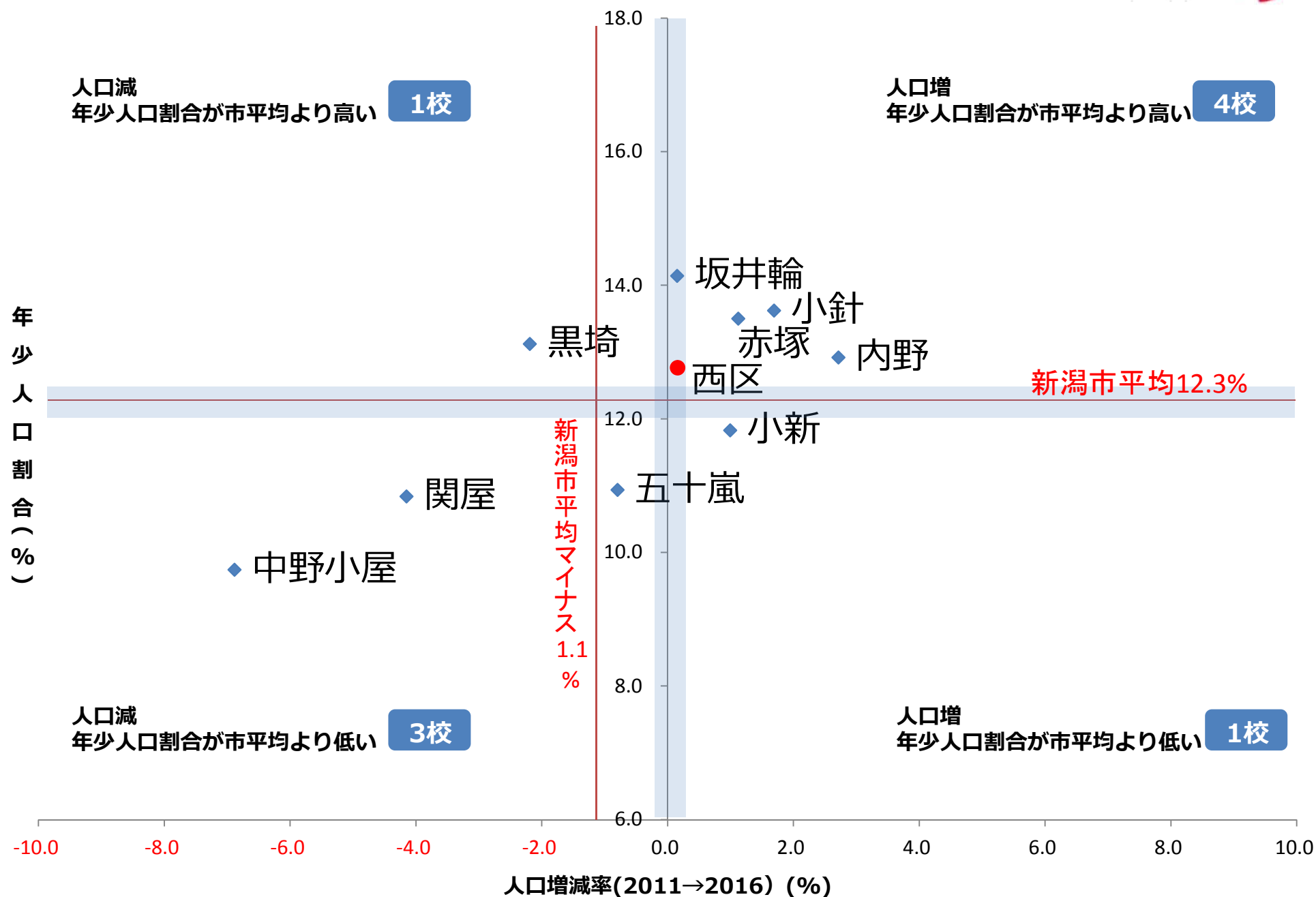
中学校区別 人口増減率×年少人口割合

花開く活力、
広がる笑顔。
政令市新潟



西区中学校区別 人口増減率×年少人口割合

花開く活力、
広がる笑顔。
政令市新潟



空き家活用、転入者増加に向けた取り組み

花開く活力、
広がる笑顔、
政令市新潟



【西蒲区】越前浜自治会

課題

- 越前浜地区の空き家の増加
- 少子化による越前小学校の統廃合の検討開始

空き家活用、転入者増加に向けた取り組み

- 空き家を把握。貸すことができる空き家を確保
- 自治会のHPを作成、情報発信。転入希望者の問合せ窓口として活用
- 自治会長が転入希望者と面談し、空き家のマッチングを実施

他にも角田地区コミ協主催のイベント「浜メグリ」により地域を訪れてもらう機会を提供するなど転入者増に向けた取り組みを実施

取り組みの成果 (H29.10.31現在)

- **55軒**の空き家が解消
- **125人**が転入 (新築への転入含む)
- 越前小学校の児童数

H23**57人**⇒ H29**50人**⇒ H35**65人** (推計)



浜メグリの様子



越前浜地区の風景

移住モデル地区（HAPPYターンモデル）

花開く活力、
広がる笑顔。
政令市新潟



地域が主体となって移住・定住の取り組みを行い、**実績ある地区を**
「**移住モデル地区(HAPPYターンモデル)**」に指定

第1号 越前浜地区



指定式の様子

支援内容

地域の方々と連携し、首都圏などへの情報発信

- 1 引越し費用支援
- 2 住宅取得支援
- 3 賃貸住宅支援
- 4 リフォーム費用
支援加算

第2号 小須戸地区



小須戸地区の街並み

取り組み

- 町家を活用したまちづくり活動
- 移住者による町家を改修した店舗の出店



移住希望者の対応を強化する組織づくり
地区特性を活かした新規支援事業の検討を実施

移住モデル地区（移住推進モデル）

花開く活力、
広がる笑顔、
政令市新潟



地域が主体となり、積極的に移住に関する取り組みを始めようとする地区を「**移住モデル地区(移住推進モデル)**」として新たに新設し、地域の活動を応援

随時募集

応募条件

- 移住に関する取り組みを始めるなど自治会、コミュニティ協議会といった頑張っている地域団体が自ら立候補

支援内容

- 既存の支援メニュー「空き家活用事業」や「リフォーム助成事業」を活用するとともに、首都圏などへの情報発信を実施

実績に応じて



ステップアップ

HAPPYターンモデルに指定

地域特性に応じた更なる支援や情報発信の充実へ

制度等の詳細については、市HPをご覧ください



課題

- 健康寿命の延伸
- 学生と住民との顔の見える関係づくり

秋葉区発！大学が住民の健康・自立を支えるまちづくり

新潟薬科大学で医薬品や医療、公衆衛生を学ぶ学生（薬学部）が、自ら学習した知識や技能を住民と共有することで健康・自立の延伸に貢献

- 健康をテーマにした、学生によるセミナー
【テーマ】糖尿病、高血圧症、認知症
白内障、心筋梗塞、腰痛等
- 住民の健康状態を知るための、学生による聞き取りアンケート
- 区内10会場で開催

取り組みの成果

- 参加者数 **1,262**人
- 満足度 満足 **87.0%**





【江南区】横越コミュニティ協議会

課題 ○地域コミュニティの維持、活性化

地域活動補助金を利用

- 独身男女を対象に共同作業によるそば打ち体験及び試食を実施
- 結婚まで進行したカップルに、希望により結婚衣装での小阿賀野川舟下りと北方文化博物館での結婚式をプレゼント ※住所は問わない

取り組みの成果

毎年11月に開催

	男性	女性	マッチング
H26	33人	12人	5組
H27	15人	4人	3組
H28	14人	5人	2組



嫁入り船の様子



【北区】早通地区自治会連合会・早通地域コミュニティ協議会

課題

- 高齢化に伴う社会的孤立、孤独死や認知症の増加
- 多世代が集う住民の交流と介護予防の拠点づくり

早通健康福祉会館の取り組み

- 地域住民アンケートの結果をもとに市や関係団体と協議を重ね、住民の交流と介護予防の拠点である「早通健康福祉会館」を建設
- 会館を拠点として、子ども食堂、脳イキイキ・体イキイキ教室、コミュニティカフェ、早通コミュニティデイホーム事業（生きがい対応型通所事業・区委託事業）、子どもカフェ（区委託事業）など幅広い事業を展開

取り組みの成果

- 介護予防と生活支援など一体的に提供できる体制づくりや地域のサロンとしての活用、子どもたちとの交流の場など多様な通いの場として期待



子ども食堂の取り組み

花開く活力、
広がる笑顔。
政令市新潟



【東区】NPO法人にいがた子育てステーション（地域が参画）

課題

- 子どもの居場所づくり、孤食や栄養の偏りの解消
- 子どもと地域の大人の関わり

新潟市初の「子ども食堂」として開設

- 新潟市内で子育て支援に関わるメンバーがNPO法人を設立
地域住民主体の運営委員会を設立し、「子ども食堂」を開設
- 毎月第2・4木曜日開催・参加費100円・子ども一人でも利用可
- 学生を含め約70人のボランティア登録

取り組みの成果

- 子ども食堂の本来の目的のほか
地域の高齢者、学生など様々な立場の人が
運営に関わり、多世代交流の場としても機能



“お互いさま”の助け合い活動

花開く活力、
広がる笑顔。
政令市新潟



【中央区】やまがたお互いさまネットワーク(山潟地区コミュニティ協議会)

課題

- 高齢者の抱える生活上の困りごとへの対応

住民主体の訪問型生活支援実施への助成を利用

- ゴミ出しや草取り、雪かき、部屋の片づけ、掃除などの支援
お話し相手や散歩など ちょっとした困りごとに対応
- 元気な高齢者も担い手として活躍
- ゴミ出しの支援は、山潟中学校の生徒も協力

取り組みの成果

- 世代を超えた人との関係づくりができた。
- 地域活動の担い手育成などを通して、コミュニティ基盤の強化につながった。



ゴミ出しの支援



雪かきの支援



【南区】庄瀬地域コミュニティ協議会

課題

- 地域活動への若者・子育て世代の参加が乏しく関心が低い
- 若者の流出や地域活力の低下を食い止めたい

地域交流拠点（地域の茶の間）のDIY

- 20～30代の若者に呼びかけまちづくりネットワークを発足
- 既存の地域拠点を多世代交流の場に手作りで改修
- 改修の様子をSNSで発信したところ、市外からも協力者が相次いだ



取り組みの成果

- ネットワーク登録者25人(11月現在)
地域の拠点をリニューアル中
完成後は地域の茶の間、
ワークショップの開催、
出会いの場など情報発信の拠点
としてネットワークを拡大していく



空き家を調査・活用する取り組み

花開く活力、
広がる笑顔。
政令市新潟



【西区】晴海ヶ丘自治会

課題

- 高齢化率、高齢者世帯数、空き家率の増加
- 空き家の環境への弊害や、安心・安全面への懸念

新潟市地域提案型空き家活用事業補助金を利用

- 自治会・町内会などの団体が行う空き家の調査研究や、その結果を受け、空き家を活用する場合などの費用の一部を助成
- 自治会を中心に調査研究事業のコーディネーターを活用し、空き家の状況調査等を実施
- 空き家を地域の茶の間に改修

取り組みの成果

- 空き家等の状況及び連絡先の把握による所有者への適正な管理維持要請
- コミュニティ施設等への活用による地域住民の交流と高齢者等の見守り支え合いに期待



An aerial photograph of a rural town. A river winds through the center, surrounded by green fields and patches of residential buildings. The sky is clear and blue.

持続可能な地域を次世代へ引き継ぐ

地域と市が協働し取り組みを推進

**人口減少に対応した地域づくりに向け
意見交換を開始**